

製品名: ARALAR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07093**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC25A12
別名	SLC25A12; ARALAR1; Calcium-binding mitochondrial carrier protein Aralar1; Mitochondrial aspartate glutamate carrier 1; Solute carrier family 25 member 12
遺伝子 ID	8604.0
SwissProt ID	O75746
免疫原	抗血清はヒト CMC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

背景

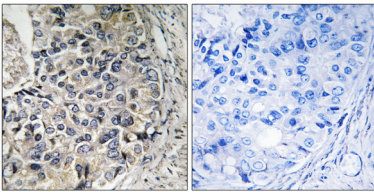
この遺伝子は、カルシウム結合性ミトコンドリアキャリアタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質はミトコン

ドリアに局在し、ミトコンドリア内膜を介したアスパラギン酸とグルタミン酸の交換に関与しています。この遺伝子の多型は自閉症と関連している可能性があり、この遺伝子の変異は脳全体の髄鞘形成不全症の原因となる可能性もあります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2012年4月]、機能: カルシウム依存性ミトコンドリアアスパラギン酸・グルタミン酸キャリア。尿素回路で機能する可能性がある。、その他:カルシウムと結合する。、類似性:ミトコンドリア輸送体ファミリーに属する。、類似性:3つの Solcar 繰り返しを含む。、類似性:4つの EF ハンド ドメインを含む。、組織特異性:心臓と骨格筋に高レベル、脳に低レベル、腎臓に非常に低レベル。、

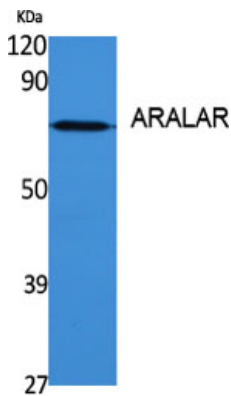
研究分野

神経科学

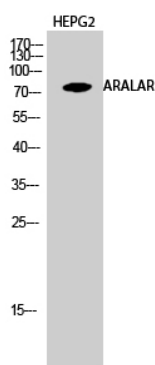
画像データ



CMC1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



1: 1000 に希釈した ARALAR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 に希釈した ARALAR ポリクローナル抗体を用いた HEPG2 細胞のウェスタンブロット解析